

NEWS LETTER



キッチンカー出動できます!!

九キ災のキッチンカーは、地域の皆さまが集まる交流の場として、さまざまなイベントに出動しています!

11月には、日本イエス・キリスト教団九州教区のセミナーに伺い、コーヒーやピザをご提供させていただきました。地域の集まりや教会イベント、各種お祭りなど、幅広いシーンに対応可能です。

出店のご相談やご依頼など、詳しくはお気軽にお問い合わせください。

クリスマス献金のお願い

現在、「Lights of Japan」でつながる・そなえる・そだてる・つかえるの4つのプロジェクトに取り組んでいます。みなさまの祈りとご支援をよろしくお願いします。



04 つかえる

01 つながる



02 そなえる



03 そだてる



九キ災の働きは皆さまの献金によって支えられています。いただいた献金は、支援活動や啓発活動のために大切に用いさせていただきます。皆様のご支援宜しくお願い致します。

九キ災パートナーズのご案内

- 寄付・募金箱の設置
- 備蓄への取り組み
- ボランティアバンクへの登録
- 祈り
- 防災イベントの実施

パートナーズへの登録に特に条件はありません。上には例として挙げていますので、貴団体で考えて「このようなことで参加したい」という登録も可能です! 是非、この愛の働きの輪に加わってください。

パートナーズのご登録はこちらから



巻頭言 「世を照らす小さなともしび」

クリスマスおめでとうございます。全世界に救いをもたらす救い主イエス様の誕生は、実に地味でした。誰もが羨む立派な王宮でもなければ、豪華なホテルでもなく…イエス様は、小さな町ベツレヘムの飼い葉桶でひっそりと生まれました。九州キリスト災害支援センターの働きも地味で、ひっそりした働きです。

「いま、九キ災は何をしているの?」と疑問に思う方もいるでしょう。「もう支援する必要もないのでは…」と考える方もいるでしょう。しかし、益城町の住民であり、地域教会の牧師である私は、九キ災の働きの尊さをひしひしと感じております。

熊本地震から10年が経とうとしています。あの震災は、多くの人の人生に、痛みと混乱と悲しみをもたらしました。しかし、あの日を境に、地域教会の隔て壁は崩れました。多くの方が、連日ボランティアに来てくださることを通して、教会と地域の壁も壊されました。気づけば、地域の方から「キリストさん」と呼ばれていました。

九キ災を通じて、地域教会が手を取り合い、地域の方とお茶会を持つようになりました。被災地の方にとって癒しとなったこの場所は「カフェオアシス」と呼ばれるようになりました。年30回近く持たれているカフェオアシスには今も多くの住民さんが集まってきます。カフェオアシスでゲームをした時のことです。「どんな時が一番幸せですか?」という質問に多くの方が、「この場所にきている時」と答えました。「ここは、悪口を言う人がいないから好き」…

私が牧会している教会にカフェオアシスから3名の方が毎週の祈祷会に参加されるようになりました。私たちの教会だけが、頑張っても見ることができなかったであろう…福音の実りです。神様の大きな救いの計画は、イエス様の誕生から小さく始まりました。イエス様の宣教の規模も地味でした。神様は小さくはじめることがお好きなようです。私は、九キ災は主において尊い働きだと確信しています。この働きを覚えてお祈りくださると幸いです。

副理事長 松尾 献

九州キリスト災害支援センター 本部事務局

〒814-0155 福岡県福岡市城南区東油山6-15-9 (油山シャロームチャペル内)

TEL:092-873-6235 / FAX:092-873-6232

E-mail: kyusyuchristdrc@gmail.com



ホームページQRコード

九キ災

検索



熊本活動報告

○カフェオアシス ○JSUきなっせ読書会

益城町では新しい場所でのカフェが始まりました。あるゲームの中で「どんな時が一番幸せですか」との問いに「ここにみんなで集まる時」と答えた方がいました。プログラムが終わっても誰も帰ることなく、おしゃべりの声に包まれるカフェは、住民さんにとっても、私たちにとっても居心地の良い、大切な場所なのだと改めて感じました。読書会も毎月続いています。



○きなっせマルシェ

熊本県内の教会と九キ災が協力して、今年で2回目となる「きなっせマルシェ」が開催されました。地域の方々の出店もあり、多くの方々が参加してくださいました。地域の方々と共に創り上げるマルシェは早くも来年の計画で盛り上がっていました。



◆10月27日・28日

キリスト全国災害ネット(全キ災)の第12回全体会合が千葉県で開催され、横田と市來が出席をしました。セッション4では「ワークリーダーの育成」について市來が発題しました。



支援活動

●九州豪雨

情報共有・現地視察・支援活動を行いました。福岡県の宮若市では、主に床下の水・断熱材の除去活動を行いました。西南学院大学のボランティアセンターとも連携し、ボランティアサークルのみなさんが参加してくださいました。

●能登半島

現地入・会議への参加・これまでの活動の報告など現地活動団体の後方支援を中心に活動を継続しています。

セミナー・講演

◆9月24日

西南学院ボランティアセンター様が、夏休み期間に学生35名を能登ヘルプに送ってくださり、事前・事後研修の講師として招いていただきました。学生のみなさんが感じたことを、これからの人生にどのように活かしていくのかについて共に考え、とても有意義な時間となりました。

◆10月12日

安永地区防災カフェが開催され、諸藤が講師として参加しました。50名を超える地域の方々がご参加くださいました。6月の1回目を踏まえての開催でしたが、より実践的な内容に取り組みました。また、熊本地震のことについて今だからこそ分かちあえることもあり、仮設住宅のサポートをしていた頃の方々との再会もありとても良い時となりました。九キ災のキッチンカーも出動し、ほっとする防災カフェになりました。

◆10月11日

日本イエス・キリスト教団徳島栄光教会は地域防災に取り組んでいます。能登半島のチャリティバザーの翌週に防災講演が開催され、市來が講師としてお話をしました。特に南海トラフ巨大地震に対してどのような備えや連携が必要かなど、参加者のみなさんと真剣に考えることができました。

◆10月18日

日本イエス・キリスト教団小倉教会で能登支援チャリティバザーが開催され、能登半島の活動報告をしました。決して大きくはない教会のみなさんが、大きな愛をもって準備をしてくださっていました。初めて教会に来られた方が石川県の羽咋市出身とのことで話が弾みました。「私は現地に行けないけれどこうして支援してくださっていることに本当にありがとうございます。」と話されていました。

本部活動報告

◇11月7日

Lights of Japanの各プロジェクトでパートナーとして共に取り組んでいる日本G&M文化財団のお二人が本部事務所を訪問してくださいました。

◇11月10日～14日

LOVE EASTの7名が九州豪雨支援活動のため九州入りし、九キ災からは後方支援としてトラック・資機材をお貸ししました。



お祈りください

- 熊本での活動、特に12月のクリスマスコンサートのため
- スタッフの健康のために
- 本部事務局が置かれている油山シャロームチャペルの新会堂(3月頃完成予定)のために
- 被災地での各団体の働きのために
- 九キ災が活動を継続するための資金のために